

西土佐小グランドデザイン2024

《児童の実態》

- ◇穏やかで優しい、素直で真面目
- ◇確かな学力、表現力に課題
- ◇主体性（意欲）、不登校
- ◇生活習慣（メディア）、家庭の教育観

《学校経営理念》

2035プロジェクト ～夢・志を育み、かなえる力の育成～
目の前の子どもの2035年の姿を見据え、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる「生きぬくための実力」を身に付けさせるため、「今」、付けるべき資質・能力の育成に向け、「チーム西土佐小学校」として、家庭・地域との連携のもと、一丸となって取り組む学校の創造。

《めざす学校像》

児童も 職員も（保護者・地域も）
今日学校に来て（行かせて）よかった、
明日も学校に来たい（行かせたい）と思える学校

- ◇明るい学校
- ◇美しい学校
- ◇温かい学校

《めざす児童像》

- 「やさしく かしく たくましく」
- ◇（に）ここに 笑顔のすてきな子
 - ◇（し）っかり ものごとを考える子
 - ◇（と）もだちも自分も 大切にする子
 - ◇（さ）いごまで やりぬく子



《教育目標》 夢をはぐくみ たくましく生きぬく子どもの育成

《徳》豊かな心

考え対話する道徳授業・人権感覚の育成・主体性を育む特別活動の実践・学校図書館の充実

《知》確かな学力

系統的且つ教科等横断的な探究型授業の実践・基礎基本の徹底・ユニバーサルデザインの視点・質の高い家庭学習

《体》健やかな体

生活習慣の確立・楽しく汗をかく体育の授業・年間を通じた体力づくりの継続・食育の推進

《到達目標》

- ①「学校が楽しい」90%以上
- ②「みんなで何かをするのは楽しい」95%以上
- ③「友達に悪口を言ったりからかったりしない学級」85%以上
- ④「あいさつがよくなる」肯定的評価90%以上
- ⑤「自分には良いところがある。」85%以上、「がんばってやって、うれしかったことがある」95%以上
- ⑥「学校のきまりが守れる」90%以上
- ⑦「目標を持って生活している」95%以上
- ⑧「道徳の勉強が好き」90%以上、「西土佐が好き」90%以上
「地域や社会をよくするために何をしたらいいか考える」90%以上
- ⑨QU学級満足群80%以上
- ⑩「読書が好き」85%以上
- ⑪読書目標冊数<低80冊、中60冊、高40冊>
⇒90%以上

やさしく

《主な取組内容》

- ◇道徳、人権教育授業の充実・板書交流
- ◇特別活動及び児童会主体の「あいさつ運動」「ありがとうの木」「西小あそびタイム」の充実
- ◇キャリア教育の推進（キャリアシートの効果的な活用）
- ◇Q-U分析を基にした学級運営
- ◇朝読書（読み聞かせ）計画的実施及び読書環境の整備
- ◇「気持ちメーター」を活用した不登校・いじめ等の早期発見・対応
- ◇SC参加の校内支援会の充実

《到達目標》

- ①全国学力・学習状況調査⇒国語、算数：全国平均+3ポイント以上
- ②高知県学力状況調査⇒県平均+3ポイント以上
- ③標準学力調査の正答率⇒全国平均+3ポイント以上
- ④市販単元テスト（EX含む）⇒学年平均（低学年：87点、中学年：85点、高学年83点）以上
- ⑤「授業がよくわかる」87%以上
- ⑥「算数の授業がよくわかる」90%以上、「算数の授業は生活に生かせる」90%以上、「自分の思いや考えを発表できる」80%以上
- ⑦「ICT機器を活用した効果的な授業実践」肯定的評価3以上
- ⑧家庭学習調べ（2学期）⇒低（30分）、中（45分）、高（60分）90%以上が目標クリア
- ⑨校内研修満足度90%以上

かしく

《主な取組内容》

- ◇研究企画委員会による立案と取組の進捗管理
- ◇「西土佐っ子の学び」の徹底
- ◇西小タイム・西小まなびタイムの計画的実施
- ◇研究授業（算数等）による探究型授業、生活に生かすことのできる授業実践
- ◇UDの視点を活かした学習環境・授業づくりの推進
- ◇タブレット等のICT機器を活用した学習の実践
- ◇授業力チェックシートによる振り返り
- ◇モデルとしたい家庭学習、自主学習ノートの展示

《到達目標》

- ①全国体力・運動能力調査⇒5種目以上全国平均超
- ②「こうちの子ども体力・運動能力向上プログラム」の実施。（学期1回以上授業での活用）
- ③「体育の授業は楽しい」95%以上、「運動やスポーツが好き」90%以上、「休み時間（長休み・昼休み）は外で遊んでいる」90%以上
- ③にしとさっ子チェック（4回実施平均）⇒就寝（低21:00、中21:30、高22:00）83%以上、メディア（1日2時間まで）95%以上、朝ごはん100%
- ④「元気な体をつくるために、好き嫌いせず給食を食べている」90%以上

たくましく

《主な取組内容》

- ◇年間計画に基づいた領域に偏りのない体育授業実践
- ◇「こうちの子ども体力・運動能力向上プログラム」の体育授業での活用
- ◇朝運動の計画的な実施による体力づくり
- ◇長休みにおける外遊びの習慣化
- ◇基本的な生活習慣調査の実施『西土佐っ子チェック』及び保護者への啓発による生活習慣の定着
- ◇食育の推進

《横断》学校教育目標と研究主題の具現化、「西土佐っ子の学び」の徹底、防災・安全教育の確立、時間外勤務の縮減

《Face to face》子ども・保護者と向き合う 《Team Nishitosa》統一感、若年教職員の育成 《Collaboration》保小中高連携、家庭・地域との協働